



あだたらっ子

・進んで学習する子ども ・思いやりのある子ども ・最後までやりぬく子ども ・健康でたくましい子ども

素晴らしい発表でした！少年の主張！

2月8日(水)のりんどうタイムで、岳下地区「少年の主張大会」に出場する6年生の スターリン チーノ さん、中川 詩花 さんが全校生の前で発表をしました。二人とも落ち着き、堂々としていました。主張内容は、現在感じている課題や問題を取り上げ、自分の考えを含めて書き上げた素晴らしいものです。

二人の主張の概要を紹介します。二人は2月18日(土)午前9時30分から岳下公民館で開催される「少年の主張大会」に出場します。

「ポイ捨てから学ぶ」 6年 スターリン チーノ

みなさんは、道ばたにごみが落ちていたところを見たことがありますか。ぼくは、登校班で歩いていたときに、たくさんポイ捨てされたごみを見かけることがあります。そこで、ポイ捨てについて考えるようになりました。

ポイ捨てによって、さまざまな害が発生してしまいます。まず、生活環境の悪化があげられます。悪臭がただよったり、歩道が歩きづらくなったりしてしまいます。また、ごみが海に流出されることで、生き物が死んだり、住めなくなったりします。ひどくなれば海水浴もできなくなってしまうかもしれません。

では、どのようにすれば、ポイ捨てをなくすことができるのでしょうか。ぼくは、ポイ捨てをなくすためにできることを三つ考えました。

一つ目は、はり紙やかん板を作ることです。ポイ捨てをするとどうなるかについても書くことで、より効果が出せるのではないかと考えます。二つ目は、ごみ拾いをするということです。ごみ拾いによって、生活環境の改善にもつながります。ポイ捨てをする人も減るし、落ちていたごみを減らすこともできるし、ごみ拾いは一石二鳥です。三つ目は心の余裕を持って生活することです。心に余裕があることによって、ポイ捨てをやめるようになり、さらにポイ捨てを減らす活動にも心が向くようになるのではないかと思います。

ポイ捨てによる害が分かり、周りの人の立場に立って考えれば、きっと解決策も見つかるはずですよ。ポイ捨てをやめる、さらには、ごみ拾いなどの活動をできるようになるだけで、いろいろなことが改善されます。ぜひみなさんもこのことをむねに生きて欲しいと思います。



「あなたは読書をしていますか」 6年 中川 詩花



私が最近感じていることは、日本の小学生の読書の時間が減っていることです。この問題について考えるようになったのは、自分も最近、読書よりテレビやゲームをする時間が増えていると感じたからです。テレビやゲーム、タブレットを長時間使用すると、すい眠時間が減り、体調不良になったり、勉強などの集中力が低下してしまったりします。

このような状況を改善するのに読書はとても適しており、様々なメリットがあります。

一つ目は、想像力が豊かになるということです。本は文章から自分で想像することができます。文章を読むことで、挿絵だけではわからない内容を想像することができます。二つ目は、読解力がつくことです。読解力は、国語だけでなく、全教科に必要な力です。三つ目は、たくさんの知識が身につくことです。本には、自分の知らないことや言葉などがたくさんあるので、新たな知識を身に付けられるようになります。

このように、読書には、多くのメリットがあります。図書委員会では、全校生が読書を好きになってもらうために様々な取り組みをしてきました。その中の一つにビブリオバトルがあります。本を紹介したバトルは、自分の好きな本の良いところを再認識し、聞いている人は、知らなかった本を知ることができます。私も、友達が紹介した本に興味をもつことができました。読書郵便という活動もしました。友達に読書郵便の感想を聞くと、自分の好きな本を知ってもらえてうれしかったそうです。また、友達から読書郵便をもらうことで、人がらを本から知ることができたそうです。

読書は人生を豊かにしてくれます。私はこれからも読書に親しんでいきたいです。



第31回 岳下地区
少年の主張大会

今年で第31回を迎える岳下地区少年の主張大会は、地区内各6校から選ばれた、14名の小・中学生が、地域への思いや将来の夢・希望など、今伝えたいことを発表します。

日 時 令和5年2月18日(土)
午前9時30分開会

場 所 岳下公民館

次世代を担う子供たちの熱い思いを是非この機会に！
みなさまお誘いあわせのうえ、ご来場ください。

◆今後の感染状況により大会が中止となる場合があります。

参加校

二本松南小学校	岳下小学校	安達太良小学校
原瀬小学校	二本松第一中学校	二本松第三中学校

主催/岳下地区青少年育成推進協議会(事務局:岳下公民館内 TEL.22-0306)

